

ベンチャービジネス論/ベンチャービジネス実践論(H16 年度前期 2 単位)

Venture Business

担当: 宮廻甫允(寄附講座京セラ経営学講座)他

教官室: 工学部共通棟702号室

電話: 099-285-8329, E-mail: kyocera@eng.kagoshima-u.ac.jp

講義の概要(目的と内容)

科学技術分野に留まらず、ビジネスやベンチャーに関する講義内容とし、従来の工学教育に技術経営の要素を取り入れる。そして、科学技術と社会経済システムに関するセンスを併せ持った、リーダーシップ、起業家スピリットを持った積極性を有する人材を養成することを目的とする。本論では、素晴らしい人生を歩み、質の高い経営を行うために必要な高次元の哲学、倫理観、基本的な考え方を身に付ける動機付けを行うとともに、実際にアイデアを生み出し、それをビジネスにまで高める方法について学ぶ。特に下記を重点的に教育内容に取り入れる。

- (1) 企業経営、技術移転、ベンチャービジネス等に関する教育を通じ、積極性、主体性、倫理意識、創造性、責任感のある人材を養成する。
- (2) 起業に挑戦し地域経済や社会に貢献するとともに将来の日本を担う企業家を生み出すことを目指す。
- (3) 京セラ、DDI 等を起こし世界的企業に育て上げた稲盛氏の経営哲学や京セラの経営方式を教育内容に取り込む。

受講生が達成すべき目標

ベンチャービジネス・企業経営を成功させるためには、経営理念・哲学が必要であるとともにそれらを率いる創業者、企業家の優れたリーダーシップとマネジメント力も重要な要素であることを知ること。そして、理念・哲学、リーダーシップ・マネジメント力とは、どのようなものを習得すること。また、アイデアを生み出す方法論やそのアイデアをビジネスにまで高める方法について学ぶこと。

成績の評価基準

①出席状況 ②質疑応答 ③レポートの結果 の3者を基に総合的に判断する。

授業計画

日程	回	内容	講師・所属
----	---	----	-------

4月 21日	(1) (2)	開講式 (1)なぜ、経営に哲学が必要か (2)ベンチャー成功の条件	宮廻甫允・京セラ経営学講座併任教授 稲盛和夫・京セラ(株)名誉会長(ビデオ視聴)
4月 28日	(3) (4)	稲盛名誉会長に学んだこと	恩田多賀雄・(株)Deto 代表取締役社長
4月 28日	(5) (6)	稲盛哲学の実践	堀口智顕・サンフロンティア不動産(株) 代表取締役社長
6月9 日	(7) (8)	ビジネスの進め方	古賀昭洋・(株)総合経営コンサルタント 代表取締役
6月 23日	(9) (10)	企業倫理のあり方	池嶋豊光・帝塚山大学経営情報学部教授
6月 30日	(10) (11)	実学Ⅰ、Ⅱ 実学Ⅲ、Ⅳ	稲盛和夫・京セラ(株)名誉会長(ビデオ視聴)
7月7 日	(12) (13)	実学Ⅴ	稲盛和夫・京セラ(株)名誉会長
7月 21日	(14) (15)	まとめ	宮廻甫允・京セラ経営学講座併任教授

教科書・参考書

教科書:特になし。資料は授業前に配布する。

参考書:「心を高める 経営を伸ばす」、「成功への情熱」稲盛和夫著 PHP研究所、「実学」稲盛和夫著 日本経済新聞社

修得しておくべき科目

特になし。後期実施の実践経営論と併せて受講するとより理解が深まる。

オフィスアワー

水 13:00～15:30

工学部共通棟702号 もしくは 稻盛会館

その他・必要な予備知識等

特になし。

場所 鹿児島大学郡元キャンパス稻盛会館(入場無料)

時間 14:30～16:00 16:10～17:40(2コマ)

定員 250名(先着順)

履修 工学部専門教科

ただし、他学部、他研究科及び一般の方も聴講可能

(注意)

・本講座は工学部にて行われますが、他学部の方にも開講しておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。なお、受講届け、単位認定については、各学科にお問い合わせください。

また、聴講のみの希望(単位認定なし)の方は、学生係京セラ経営学講座(工学部共通棟7階702号室)までお申し込みください。